

令和6年度「あおもり創造学」活動報告①

本校では、2年次で『あおもり創造学』という探究活動に取り組んでいます。

4月から一人一課題を設定し、8つの分野に分かれて調査活動をおこなってきました。

6月には、八戸学院大学の加来聡伸准教授をお招きし、『フィールドワーク入門』講演会を実施しました。今後は、夏休みなどを利用して、生徒各自がフィールドワークに出かける予定です。

以下に講演会の様子と生徒の感想の一部をご紹介します。



演 題:『フィールドワーク入門』

講 師:八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科 准教授 加来 聡伸 氏

日 時:6月11日(火)7校時

生徒の感想

☆今回の講演会で分かったことをまとめましょう。

情報収集を行う際のポイントとして聞き上手になることが大事だと分かった。深い探究をするために答えてほしい質問だけをするのではなく、関連した話も含めて、会話するようにしてさらに新しい情報を得られるようにする。

☆今回の講演会で分かったことをまとめましょう。

先入観を壊す=とかう始めていこうと改めて思った。これはこうあるべきだ、という考えを脱却し、自分から疑問に立ち向かっていこうと思った。アンケートの結果として利用し、研究を簡潔させるのではなく、一部のデータとして利用する=と、メモをする=との意義を改めて考え直したいと思った。

☆今回の講演会で分かったことをまとめましょう。

- ・フィールドワークは調べ方から始めること、自分で探検すること
- ・誰かの話を聞くときは1人だけじゃなく複数人に関 (キーワードを見つけてはいい)
- ・ヒアリングは丁寧で大事な話、相手の気持ちに話の切りかたの配慮
- ・フィールドワークは文献調査、メモの整理が大事